

演習・協議

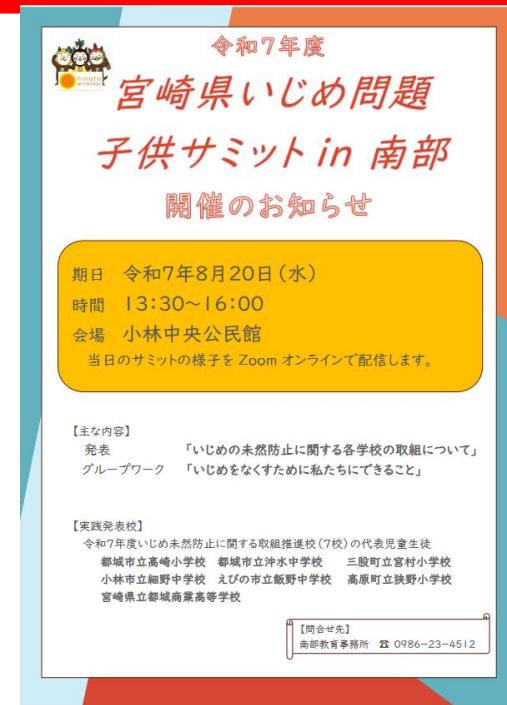
# 「発達支持的生徒指導を意識した 組織的な取組について」

---

南部教育事務所 教育推進課  
指導主事 小野 雅樹

# 【宮崎県いじめ問題子供サミットサミット IN 南部の開催】

- 1 日時：令和7年8月20日（水）
- 2 時間：13:30～16:00
- 3 会場：小林中央公民館
- 4 対象校
  - ・都城市立高崎小学校
  - ・三股町立宮村小学校
  - ・小林市立細野中学校
  - ・宮崎県立都城商業高等学校
  - ・都城市立沖水中学校
  - ・高原町立狭野小学校
  - ・えびの市立飯野中学校





宮崎県教育委員会  
宮崎県教育支援センター

# 「コネクト」

不登校の児童生徒等の社会的自立に向けて、  
学校や関係機関と連携を図りながら、安心して  
活動できる施設です。



居場所



きっかけ



選択肢の  
1つ



「コネクト」は、みなさんとの「つながり」、  
将来との「つながり」を応援する場所です。

## 相談・見学・面談

「コネクト」の見学や面談を希望する場合は、在籍する学校へご相談されるか、下記連絡先に直接、ご連絡ください。右下の二次元コードからもお問い合わせ可能です。  
また、遠方の方など、オンラインでの相談も可能です。



## 申請手続き

利用を希望する場合は、「利用申込書」(別紙)を在籍校へご提出ください。申込書は、面談の際に直接お渡します。

## 交通アクセス



## 問い合わせ

宮崎県教育委員会 宮崎県教育支援センター

# 「コネクト」

Tel 880-0835 宮崎県宮崎市阿波岐原町前浜4276-729  
(宮崎県教育研修センター内)

TEL:0985-24-3171 FAX:0985-24-3578

E-mail:connect@pref.miyazaki.lg.jp

## Q & A



Q どのような児童生徒が対象ですか？

A 公立・国立・私立問わず、小学生から高校生までを対象としています。

Q 児童生徒の服ぞうにきまりはありませんか？

A 基本的に自由です。

Q どのくらいの期間、利用することができますか？

A 特に期間は決まっていません。本人、保護者と相談して、利用期間や利用時間は決めています。

Q 利用するにあたって、料金は発生しますか？

A 発生しません。ただし、活動の内容によって、ご家庭に負担していただきます。  
また、昼食が必要な場合は、各自でご準備ください。

Q 「コネクト」には、どのように行けばいいですか？

A 公共交通機関を利用したり、保護者の方々の送迎など、保護者・本人と相談のうえ、決定していただきます。

Q 「コネクト」を利用した際、出席の扱いについてはどのようにになりますか？

A 出席の状況については、「コネクト」から学校へ定期的に支援内容や活動内容を報告します。  
その内容を踏まえて各学校が判断します。



## 対象

県内の小・中・高・特別支援学校に在籍している児童生徒や中途退学者等



## 利用時間等

- 月曜日から金曜日  
(土・日、祝日や年末等は除きます)
- 午前9時30分から午後3時30分  
※上記時間帯であれば、活動時間を自分で決定できます。

### オンライン開設

毎週水曜日 10時～(小・中・高対象)

### Live配信型講座

毎週水曜日 11時～(高校生対象)



## スタッフ等

- 支援員
- スクールカウンセラー (SC)
- スクールソーシャルワーカー (SSW)
- 大学生ボランティア

## 各関係機関と連携

- 各市町村が設置する教育支援センターの連携拠点となっています。
- フリースクール等の関係団体等との連携も図っています。



## 活動内容

### ★自己を見つめる

- 個別の支援にかかる相談  
(オンラインを含む)
- 目標の設定 など



### ★学習活動・体験活動

- 読書 ○室内ゲーム ○自学自習
- スポーツ ○散策 ○オンラインで会話
- I C Tを活用した学習等 ほか

## イベント!!!

楽しいイベントを企画します!!!

例

- 季節に応じた祭
- 公共施設「潜入調査」
- オンライン「修学旅行」
- 調理実習
- クイズ選手権
- ミニコンサート♪
- などなど・・・。



イベントの様子は  
QRコードで  
チェック!  
(^\_^)!

### ★自立に向けて

- オンラインによる授業参加  
※高等学校においては、単位の履修・修得を認める運用の在り方について、現在、調査研究を行っています。
- 進路実現 ほか

## 主な活動場所

### ■「コネクト」ルーム

支援員又はスタッフ等と児童生徒同士が会話をしたり、自学自習や運動をしたりする「活動のスペース」と、リラックスして心と体を休めたりする「休息のスペース」があります。



### ■みやざき学びサポートプラザ

学校の先生のための本だけではなく、児童生徒用の絵本や小説、図鑑など多くの本があります。一般の県民の皆様も利用できます。



### ■「コネクト」ファーム

みんなで協力して、野菜や果物、植物などを育てます。



### ■松林＆海岸

阿波岐原森林公园、その奥には一ヶ葉ビーチが広がっています。五感を癒してくれる森林。解放感たっぷりの海。心地よい空気が身体を包んでくれます。



### ■県の各施設と連携

図書館や博物館、動物愛護センターなど県の施設と連携して体験活動を行うこともできます。

# 生徒指導摘要の改訂が求められた社会的背景

## I 児童生徒の問題行動・不登校の深刻化

不登校、暴力行為、いじめの重大事態、自殺者数の増加

## 2 社会環境の変化と多様な背景をもつ児童生徒の増加

発達障害、LGBTQ、外国籍、支援を要する家庭の増加

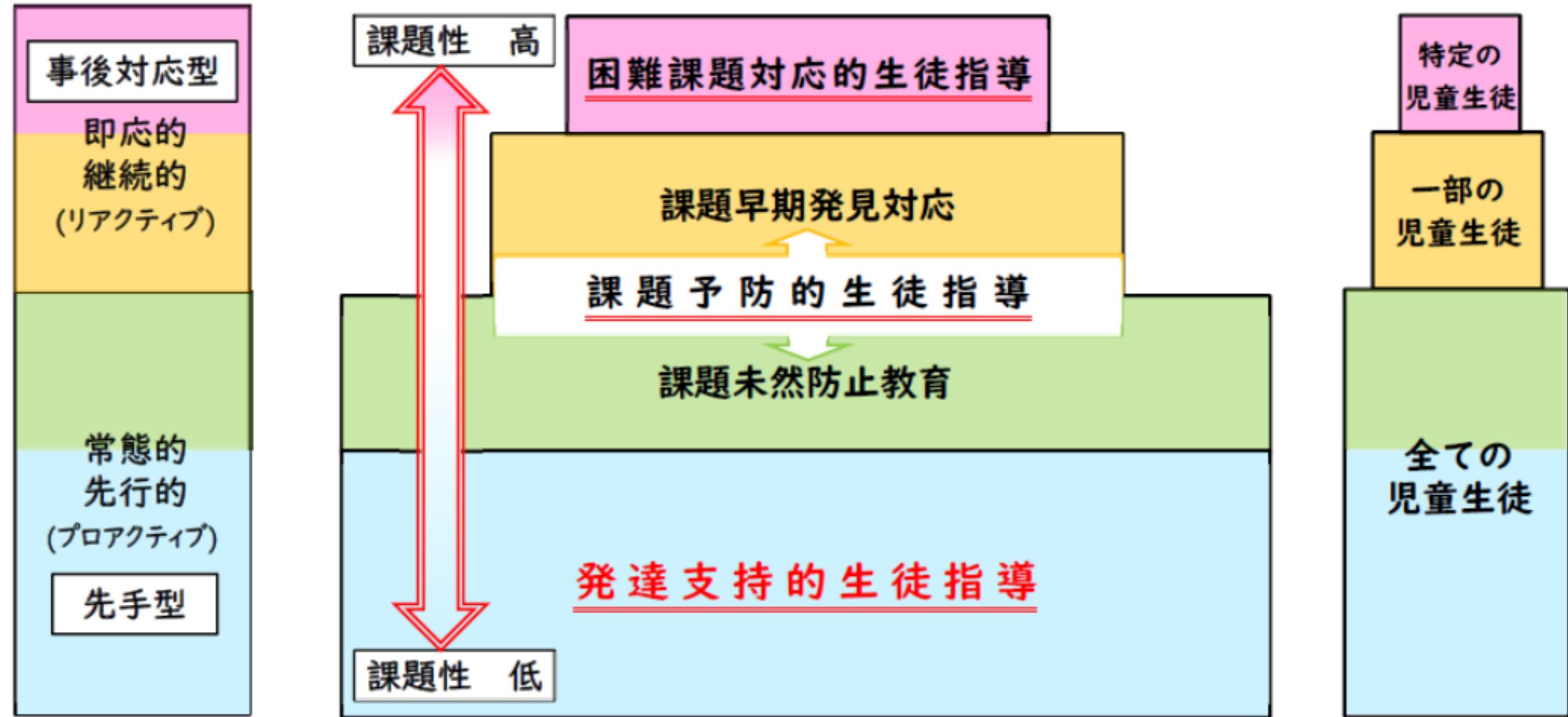
## 3 変動する社会状況と「未来を生きぬく力」の獲得

「VUCA」な時代（不安定、不確実、複雑、不明確）

## 4 法の理解に基づく生徒指導の必要性

生徒指導に関連する法令の成立・改正（いじめ防止対策推進法の成立、自殺対策基本法の改正、少年法の改正など）

# 生徒指導の重層的支援構造



## ○発達支持的生徒指導とは・・・

---

特定の課題を意識することなく、**全ての児童**  
**生徒**を対象に、学校教育の目標の実現に向けて、  
教育課程内外の**全ての教育活動**において進めら  
れる**生徒指導の基盤**となるものです。

# ★生徒指導の実践上の4つの視点

---

- 1 自己存在感 の感受
- 2 共感的な人間関係の育成
- 3 自己決定 の場の提供
- 4 安全・安心な風土の醸成



# ★生徒指導の実践上の4つの視点



## | 自己存在感 の感受

- 「自分も一人の人間として大切にされている」という**自己存在感**を、児童生徒が実感することが大切
- **自己肯定感**や**自己有用感**を育むことも極めて重要

# ★生徒指導の実践上の4つの視点



## 2 共感的な人間関係 の育成

- 失敗を恐れない、間違いやできないことを笑わない、むしろ、なぜそう思ったのか、どうすればできるようになるのかを皆で考える支持的で創造的な学級・ホールームづくりが生徒指導の土台

# ★生徒指導の実践上の4つの視点

## 3 自己決定の場 の提供



- 授業場面で自らの意見を述べる、観察・実験・調べ学習等を通じて自己の仮説を検証してレポートする等、自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験が何より重要

# ★生徒指導の実践上の4つの視点



## 4 安全・安心な風土の醸成

- お互いの個性や多様性を認め合い、**安心**して授業や学校生活が送れるような風土を教職員の支援の下で、児童生徒自らがつくり上げるようにすることが大切

# 演習

---

「生徒指導の4つの視点を  
生かした具体的な実践について」

時間帯

登校

朝の会

授業

給食

昼休み

清掃

下校

様子

具体的な支援・働きかけ

校門で校長先生にあいさつをしながら友達と二人で登校

時間帯

様子

具体的な支援・働きかけ

登校

朝の会

授業

給食

昼休み

清掃

下校

## ★生徒指導の実践上の4つの視点

- 1 **自己存在感** の感受
- 2 **共感的 な人間関係** の育成
- 3 **自己決定** の場の提供
- 4 **安全・安心 な風土** の醸成

# 演習「生徒指導の4つの視点を生かした児童生徒への働きかけ」

- 1 自己紹介
- 2 各場面での児童生徒の姿をイメージする。  
【5分（個） → 10分（共有）】
- 3 それぞれの場面での児童生徒に対する支援等を考える。  
【10分（個） → 20分（共有）】
- 4 全体での共有（10分）

# 「生徒指導の4つの視点を生かした 児童生徒への働きかけ」

## ～振り返り～

---

南部教育事務所 教育推進課  
指導主事 小野 雅樹

# ★これからの生徒指導の方向性

---

- 1 児童生徒の**成長・発達を支える生徒指導**
- 2 **学習指導と生徒指導**の一体化
- 3 **チーム学校**による生徒指導体制の構築

# ★これからの生徒指導の方向性

| 児童生徒の成長・発達を支える生徒指導

特定の児童生徒に焦点化した事後指導援助



全校体制で取り組む児童生徒の成長・発達を  
支える生徒指導へとシフトする

# ★これからの生徒指導の方向性

## 2 学習指導と生徒指導 の一体化

- 教科の学びを社会で充実して「生きる力」につなげる
- 子どもたちにとって学校生活の中で最も多くの

時間を割いているのは… **授業**

# ☆授業の中での生徒指導の実践上の4つの視点の例

## ◎自己存在感の感受への配慮

(例) 「ネームプレート」の活用、全員が応答できる発問・助言、つぶやきへの注目などの場面でどの子を活躍させるか事前想定 等

## ◎共感的な人間関係の育成

(例) 友達の意見をうなずきながら聞く、言い終わるまで待つ、一人一人を褒める子どもの人間性を認める、間違った応答も笑わない（否定しない） 等

## ◎自己決定の場の提供

(例) 選択場面の設定、対立意見を生む発問、一人調べの時間確保、視点の明確化考える時間の十分な保障、思考過程の分かる板書やノート 等

## ◎安全・安心な風土の醸成

(例) めあての工夫や見通しをもたせる支援、教師との信頼関係づくり、多様な考え方や意見が尊重されるような人間関係づくり等

# ★これからの生徒指導の方向性

## 3 チーム学校 による生徒指導体制の構築

- 組織的で実効的な生徒指導体制の構築
- 学校と専門家・関係機関及び地域・家庭との連携・協働の強化

# チーム学校による 生徒指導体制

## 地域社会

学校運営協議会 ← → 地域学校協働本部

家庭

関係機関等

連携・協働

連携・協働

連携・協働

校長

副校長  
教頭

事務長

主幹教諭



事務職員



指導教諭



教諭



養護教諭



SC・SSW



児童生徒



連携・協働



連携・協働



地域学校協働活動推進員等コーディネーター

学校

スクールロイヤー・部活動指導員等専門スタッフ